

# brewista<sup>®</sup>

## ARTISAN

### Gooseneck Kettle

600ml 温度調整機能付きケトルBR6106GVKJPシリーズ

1.0L 温度調整機能付きケトルBR6110GVKJPシリーズ



PSE基準適合

## 取扱説明書 保証書付

ご購入誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。また本書は保証書が付属しておりますのでお読みになりましたら大切に保管してください。

日本国内専用  
一般家庭用

日本国外では使用できません。また保証や修理もできません。

This warranty is valid only in Japan.

## もくじ

|              |      |
|--------------|------|
| 安全上のご注意      | 1-3  |
| 各部の名称        | 4    |
| ご使用方法        | 5-10 |
| 高地でのご使用      | 10   |
| 保証とアフターサービス  | 11   |
| 廃棄・処分について    | 11   |
| 製品仕様         | 11   |
| 製品に関するお問い合わせ | 11   |
| 保証書          | 12   |



## 安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書に記載の注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しています。これらのマークを表示してある事項はいずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

### 表示の説明

 **警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。

 **注意** 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

### 図記号の説明

 **禁止** してはいけない禁止の内容を示しています。

 **指示** しなければならない指示の内容を示しています。

## 警告

-  変形・破損している電源コードや電源プラグの使用、機器が故障した場合、機器が破損した場合は絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
-  電源コード、電源プラグ、電源ベース、ケトルには絶対に水やその他の液体をかけたり、つけたりしないで下さい。火災、感電、ケガなどの原因となります。
-  本体側接続部、および電源ベース側接続部は本体と電源ユニットの通電部です。ヤケド、ケガ、感電、発火の原因となるため、接続部の隙間や穴にピンや金属を入れないでください。
-  お子様、補助を必要とする人に使用させないでください。また乳幼児やお子様の手の届く所に置かないでください。
-  ガス台やIH調理器、コンロの上に置いたり、加熱中のオーブンなどの熱源の近くや他の電化製品の上に置かないでください。変形や破損により火災、感電の原因となります。
-  電源コードには熱いものを触れさせたりしないでください。変形や破損により火災や感電の原因となります。

## 警告

-  ケトルは付属されている電源ベース以外の機器で使用しないでください。火災、感電、ケガの原因となります。
  -  本取扱説明書に記載以外の用途で使用しないでください。
  -  分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。
  -  フタを閉めて使用してください。
- 

## 注意

-  屋外で使用しないでください。
-  業務使用、業務機器との併用、長時間の連続使用はしないでください。誤作動、故障の原因となります。
-  電源コードをテーブルやカウンターの端や角にかけて使用しないでください。本体が倒れヤケドやケガの原因となります。
-  熱くなっているケトル本体の表面に触れないでください。ヤケドやケガの防止のためにハンドルもしくはフタのつまみを使用してください。
-  加熱中に絶対にフタを取り外さないでください。お湯が飛び散ったり、高温の蒸気によるヤケドの原因となります。
-  不安定な場所での使用はしないでください。本体が倒れヤケドやケガの原因となります。
-  ケトルに水以外は入れないでください。吹き出し、ヤケドの原因となります。
-  ケトルの隙間や穴に物を挿入しないでください。変形や破損、感電、発火の原因となります。
-  ヤケドやケガを防ぐため、給水する際は注ぎ口、またはフタを外したときに放出される蒸気に十分に注意してください。
-  高温の蒸気によるヤケドの原因になるため、蒸気口がハンドルの方向に向かないようにフタを装着してください。
-  使用する際は最初にコンセントに電源プラグを接続してください。接続を外すには、スイッチをオフしてから、コンセントから電源プラグを外してください。

## 注意

-  使用しないとき、ケトルに水が入っていないとき、給水しているとき、ケトルを移動しているとき、お手入れをしているときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  電源ベースに装着した状態のケトルに給水しないでください。本体の外側や底に水分がついた場合は、電源ベースに置く前に必ず拭き取ってから装着してください。
-  定格容量を守ってください。BR6106GVKJPシリーズは0.6L(600ml)、BR6110GVKJPシリーズは1.0L(1000ml)「MAX」表示ライン以上は給水しないでください。沸騰した際に溢れ出てヤケドやケガ、機器の故障の原因となります。
-  使用する前や、お手入れする前には機器が冷めていることを確認してください。
-  定格15アンペア、100ボルト(15A/100V)のコンセントを単独で使用してください。また、延長コードを使用する際は、定格15アンペア(1500ワット)以上のものを単独で使用してください。

## 注意

### 電源コード(プラグ付電源コード)の長さについて

-  コードの絡まりや、つまづく危険性を減らすために、本機は短めの電源コードが付属されています。長めのコードが必要な場合は、延長コードを使用してください。延長コードを使用する場合は定格15アンペア(1500ワット)以上のものを単独で使用してください。
-  延長コードを使用する際は、カウンターやテーブルからコードが垂れることのないようにコードを整えてください。特にお子様が誤って引っかかりたり、引っ張ったりする危険性がないように注意をしてください。



使用中のケトルは非常に熱いです。ケトルの表面に絶対に触れないでください。ヤケドやケガの危険があります。特に乳幼児やお子様近くにいる場合は、加熱させながらケトルを放置しないでください。



沸騰中にフタを開けないでください。高温の蒸気でヤケドやケガの危険性があります。

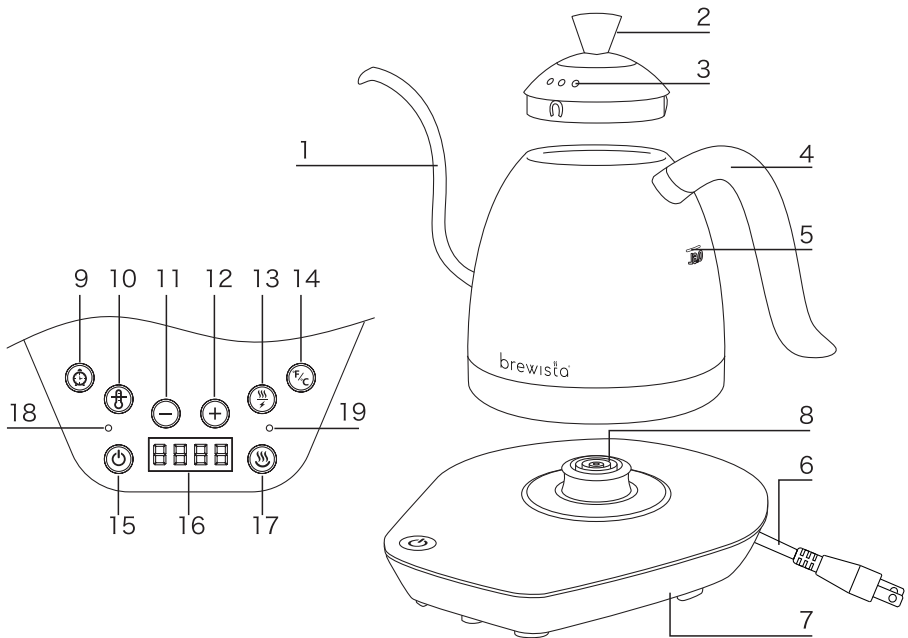


電源コード、電源プラグ、電源ベース、ケトルには絶対に水やその他の液体をかけたり、つけたりしないで下さい。火災、感電、ケガなどの原因となります。



お湯を扱うときは十分注意してください。ヤケドやケガの危険性があります。

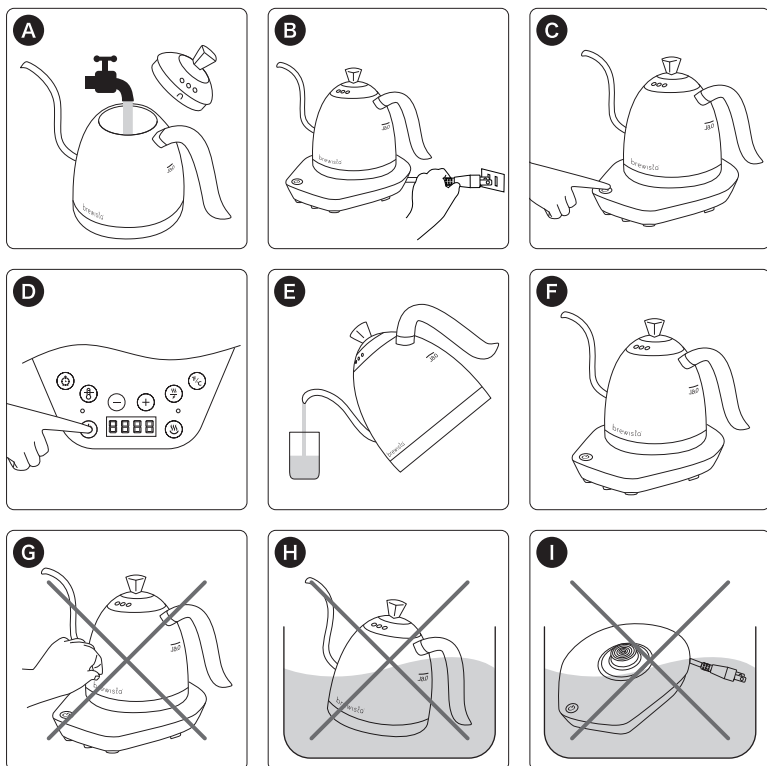
## 各部の名称



- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1) 注ぎ口            | 10) 温度設定ボタン            |
| 2) フタ             | 11) - ボタン              |
| 3) 蒸気口            | 12) + ボタン              |
| 4) ハンドル           | 13) FAST BOIL(急速沸騰)ボタン |
| 5) MAX表示ライン       | 14) 温度表示 ℱ / ℄ ボタン     |
| 6) プラグ付き電源コード     | 15) ON / OFFボタン        |
| 7) 電源ベース          | 16) LCDディスプレイ          |
| 8) 電源ベース側接続部      | 17) 保温ボタン              |
| 9) カウントアップタイマーボタン | 18) 加熱中ランプ             |
|                   | 19) 保温中ランプ             |

## ご使用方法

**⚠ 電源を入れる前に、電気回路が過負荷になっていないことを確認してください。**



### ① ケトルの準備

**！ 電源ベースから保護フィルムを剥がしてください。**

- 電源ベース(7)を水平で安定した場所に置いてください。
- 電源ベース(7)からケトルを取り外してください。
- フタ(2)を外しケトルに水を入れてください。(図A)

**⚠ ケトルの内側に記されたMAX表示ライン以上の水を入れないでください。**

- ケトルに給水後、フタ(2)の蒸気口(3)が注ぎ口の方に向くようにしっかりとセットし、ケトルを電源ベースにしっかりと設置します。
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。(図B)

## ② 初めて使用する前の準備

- ケトルの内側に記されたMAX表示ライン(0.6Lまたは1.0L)まで水を入れてください。
- フタ(2)の蒸気口(3)が注ぎ口側に向くようにしっかりとセットします。
- ON / OFFボタン(15)を押して加熱を開始してください。
- 水が沸騰したらお湯を捨ててください。
- 1分間冷ましてください。
- この手順を2回繰り返してから使用してください。

## ③ 温度表示、華氏(°F)または摂氏(°C)を選択する

- 電源ベースの電源がオンになったら、温度表示 °F / °C ボタン(14)を押して華氏または摂氏を選択できます。

## ④ 温度設定

### 推奨温度一覧

| 設定        | 温度          | 設定      | 温度          |
|-----------|-------------|---------|-------------|
| 緑茶        | 80°C(175°F) | ココア     | 88°C(190°F) |
| ホワイティー    | 85°C(185°F) | ホットシリアル | 91°C(195°F) |
| ウーロン茶     | 88°C(190°F) | コーヒー    | 93°C(200°F) |
| 紅茶・ハーブティー | 98°C(208°F) | ティーバッグ  | 98°C(208°F) |

### 手動で加熱する方法(図D)

- ON/OFFボタン(15)を押すと、工場出荷時の温度がLCDディスプレイ(16)に表示されます(使用後は最後に設定された温度が表示されます)。
- LCDディスプレイは設定された温度を5回点滅させ加熱を開始します。次にLCDディスプレイに現在の水温が表示されます。
- 設定温度に達すると、ビープ音が2回鳴ります。
- 水を直ちに沸騰させる場合は、8ページのFAST BOIL(急速沸騰)機能を参照してください。

### プリセット温度設定で加熱する方法

- お好みの設定温度が表示されるまで温度設定ボタン(10)を繰り返し押して選択してください。設定温度を選択し設定すると加熱を開始します。
- 設定温度に達すると、ビープ音が2回鳴ります。

### プリセット温度一覧

|             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 40°C(104°F) | 70°C(158°F) | 88°C(190°F) |
| 50°C(122°F) | 80°C(175°F) | 90°C(194°F) |
| 60°C(140°F) | 85°C(185°F) | 93°C(200°F) |

## ① ④ お好みの温度を手動で設定する方法

- 温度設定ボタン(10)を押します。最後に設定した温度がディスプレイ上で点滅します。
- 「+」ボタン(12)または「-」ボタン(11)を押して、お好みの温度を選択します。
- LCDディスプレイの点滅が止まると温度が設定され加熱を開始します。次にLCDディスプレイに現在の水温が表示されます。
- 設定温度に達すると、ピープ音が2回鳴ります。

### メモ

- 手動で加熱を中止したい場合は、ON/OFFボタン(15)を押すか、電源ベースからケトルを取り外してください。
- 温度が設定されるとメモリに保存され、次回ケトルの電源を入れた際に再び表示されます。
- 加熱中はLCDディスプレイは現在の水温が表示されます。
- ケトルが電源ベースから取り外されないかぎり、LCDディスプレイは水温を1時間表示し続けます。
- 加熱中にケトルを電源ベースから取り外すと、加熱が止まり、ON/OFFボタン(15)のランプが消灯し、LCDディスプレイに「00:00」と表示されます。
- ケトルを電源ベースに戻すと、LCDディスプレイに現在の水温が1時間表示されます。
- 加熱の再開および、保温機能を維持するためには、ケトルを電源ベースに再度設置し、対応するボタンを押してください。

## ⑤ FAST BOIL(急速沸騰)機能の設定(オプション)

**FAST BOIL(急速沸騰)ボタン(13)を押すと、FAST BOIL機能が有効になります。**

- FAST BOILボタンのランプが点滅し、急速加熱を開始します。
- FAST BOILボタン(13)をもう一度押すと、急速加熱を中止します。

**FAST BOIL(急速沸騰)の後、設定した温度で保温することができます。**

- お好みの温度を設定します。(④を参照ください)
- ケトル本体を電源ベースに置き、保温ボタン(17)を長押しします。
- 加熱中ランプ(18)と保温中ランプ(19)が点灯し、加熱が開始されます。
- 水が沸騰したら、FAST BOILボタンの点滅が止まり、設定された温度に下がるまで加熱を停止します。
- 設定温度まで下がったら、ピープ音が2回鳴り、1時間保温します。
- ケトルを電源ベースから外すと、保温機能は停止します。
- 保温中ランプ(19)が点滅中に温度を設定し直すと、もう一度FAST BOIL機能が働きます。

## ⑥ 保温機能を使用する(オプション)

**手動で保温する方法**

- 機能を有効または無効にするには、保温ボタン(17)を押してください。  
お好みのプリセット温度がLCDディスプレイに5回点滅します。
- 保温機能が有効になると、保温ボタンのランプが点灯します。

- 水が設定温度に達すると、ビープ音が2回鳴り、設定温度は1時間保温されます。
- 1時間の保温が終了すると、長いビープ音が1回鳴ります。
- ケトルを電源ベースから取り外した場合は保温は中止されます。再び保温する場合はケトルを電源ベースに設置し、保温ボタン(17)を再度押してください。

### オート保温機能

バリスタ向けの新機能が搭載されました。

保温中のケトルを一度取り外したあとも継続して保温することができます。

- 温度設定ボタン(10)を長押しします。
- LCDディスプレイに「A on」が表示され、オート保温機能がONになります。
- オート保温機能をOFFにするには、温度設定ボタン(10)を長押しするとLCDディスプレイに「A OFF」と表示され、OFFになります。

## 7 カウントアップタイマー機能

ケトルをベースから取り外すと、LCDディスプレイに「00:00」と表示されます。



- カウントアップタイマーボタン(9)を押すと、カウントアップタイマーが開始されます。
- 最初の2桁は「分」、最後の2桁は「秒」を表しています。(上記の図を参照)
- 最大カウントアップ時間は「59'59"」です。
- 再度カウントアップタイマーボタン(9)を押すとタイマーが停止します。もう一度押すとタイマー表示はゼロに戻ります。

ケトルを電源ベースに戻すとカウントアップタイマーは表示されなくなります。

## 8 ビープ発信音

ブリュイスタ・アルティザン温度調整機能付きケトル(本製品)は発信音を通してケトルの情報を知らせます。

- ON/OFFボタン(15)を押すと、ビープ音が1回鳴ります。
- 水が設定温度に達すると、ビープ音が2回鳴ります。
- 保温機能が完了すると、長いビープ音が鳴ります。
- ビープ音をオフにするには以下の作業をしてください。
  - 電源ベースからケトルを取り外し、「+」ボタン(12)と「-」ボタン(11)を同時に押してください。3回のビープ音が鳴り、LCDディスプレイに「b.oFF」と表示されます。
- ビープ音を再びオンにするには以下の作業をしてください。
  - 電源ベースからケトルを取り出し、「+」ボタン(12)と「-」ボタン(11)を同時に押してください。3回のビープ音が鳴り、LCDディスプレイに「b.ON」が表示されます。

## 9 お手入れ方法

### クリーニング

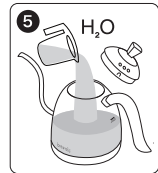
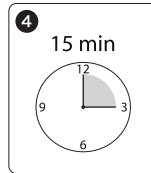
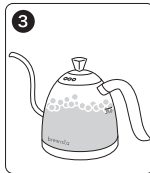
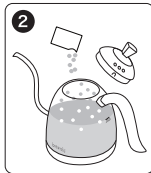
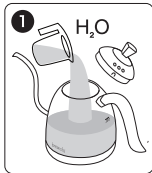
- ケトルの外側と電源ベースはかたく絞った柔らかい布で水拭きしてください。
- ケトルの内側は水ですすぎ洗いをしてください。



ケトルや電源ベースには水やその他の液体をかけたり、つけたりしないでください。  
必ず電源プラグを抜いてケトルが冷めてからお手入れをしてください。

### スケールの除去

- ケトル本体内側の白い汚れ(スケール)は、水に含まれるミネラル成分が固着したものです。衛生上問題はありませんがスケールがケトルに蓄積すると、温度の一貫性に影響を与えます。また加熱時間が長くなる場合があります。
- 最適な性能を保つために、ブリュイスタは、定期的なスケール除去を推奨しています。
- 以下の手順でスケールの除去を行ってください。
  - 1) ケトルに記されたMAX表示ライン(0.6Lまたは1.0L)まで水を入れてください。
  - 2) クエン酸を20g(大さじ1.5杯程度)を1)のケトルに入れ混ぜます。
  - 3) 水とクエン酸の溶液を沸騰させます。
  - 4) ケトルを15分間放置し、溶液を捨ててください。
  - 5) 水で十分にすすいでください。



酢を使用したスケール除去はスケールを効果的に除去できず、完全にすすぐことができない場合があります。また、酢の使用は臭いがケトル内側に残る可能性があり、使用に影響を与える可能性がありますので使用しないでください。

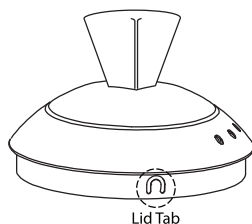
## 10 保管の方法

- 保管する前にケトル、電源ベース、電源コードをクリーニングして乾燥させてください。
- 箱、もしくは清潔で乾燥した場所で本製品を保管してください。
- 電源コードをケトルの周りに巻かないでください。

## 11 ケトルのフタの調整

フタを取り外す際、硬く、取り外しが容易でないと感じる場合は、次の手順で調整をしてください。

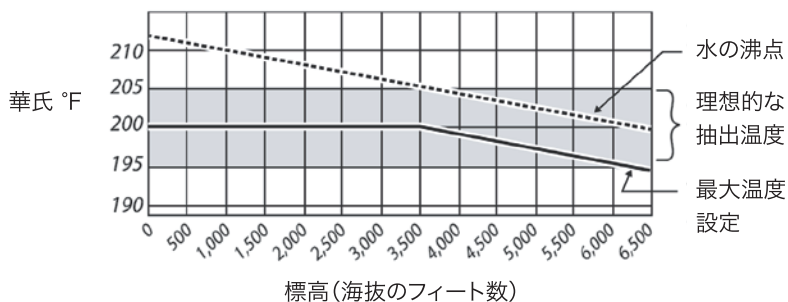
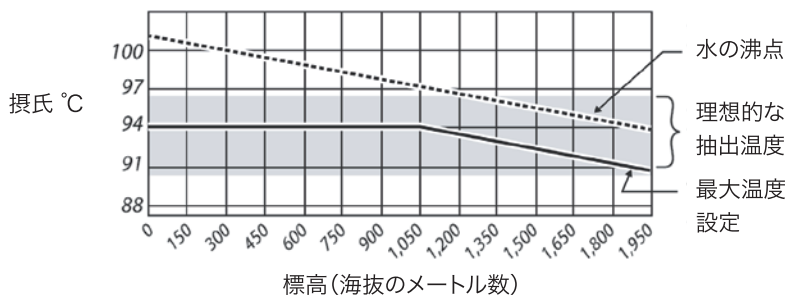
- 1) ケトルからフタ(2)を取り外します。
- 2) ケトルのフタの3つのタブ(Lid Tab)をラジオペンチなどの工具を使用して調整してください。タブを押し込むと緩くなりフタの取り外しが容易になります。
- 3) タブを調整した後、フタをケトルに再度装着し、調整が正しいかどうかを脱着して確認してください。
- 4) フタの調整がお好みの状態になるまで、手順2と3を繰り返してください。



## 高地でのご使用



高い標高では、低い温度で水が沸騰します。設定温度を水の沸点以上に設定しないでください。標高に応じた沸騰温度を設定するために、以下のグラフを使用して、ケトルの沸騰温度を確認してください。



## 保障とアフターサービス

修理に関するご相談ならびにお取り扱い・お手入れに関するご不明な点は  
輸入代理店 株式会社スピンまでご連絡ください。

- 1)保証書は必ず「お買い上げ日」と「販売店印」など所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
- 2)保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の内容に従って修理いたします。必要に応じて、修理ではなく新品交換とさせていただく場合があります。
- 3)保証期間経過後の修理についても、輸入代理店 株式会社スピンまでご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- 4)本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後3年です。補修用性能部品とは、本機の機能を維持するために必要な部品です。
- 5)海外（日本国外）での正常な動作は保証いたしません。故障の原因になります。また、アフターサービスもいたしません。
- 6)修理品お預かり期間中の代替機の貸し出しサービスは行っておりません。

## 廃棄・処分について

ご不要になった本機の廃棄・処分については各自治体の規則に従ってください。

## 製品仕様

|        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 型式     | BR6106GVKJPシリーズ                       |
| 電源     | AC100V 50Hz/60Hz                      |
| 定格消費電力 | 950W                                  |
| 本体寸法   | 幅(W)310mm<br>奥行(D)230mm<br>高さ(H)220mm |
| 本体質量   | 約1355g                                |
| 定格容量   | 0.6L (600ml)                          |
| コードの長さ | 0.75m                                 |
| 用途     | 家庭用・屋内用                               |

|        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 型式     | BR6110GVKJPシリーズ                       |
| 電源     | AC100V 50Hz/60Hz                      |
| 定格消費電力 | 950W                                  |
| 本体寸法   | 幅(W)310mm<br>奥行(D)230mm<br>高さ(H)230mm |
| 本体質量   | 約1420g                                |
| 定格容量   | 1.0L (1000ml)                         |
| コードの長さ | 0.75m                                 |
| 用途     | 家庭用・屋内用                               |

Made in China

## 製品に関するお問い合わせ

製品に関するお問い合わせは下記までお問い合わせください。

Brewista 輸入代理店  
**株式会社スピン**

〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出1-10-3 TEL: 092-710-5229  
メールでのお問い合わせは support@brewista.jp

この度は、ブリュイスタ アルティザン グースネックケトルをお買い上げありがとうございます。

## 保証書

製 品 名 : ブリュイスタ アルティザン グースネックケトル (600mlもしくは1.0L温度調整機能付きケトル)

型 式 : BR6106GVKJPシリーズ/BR6110GVKJPシリーズ

※販売店

保証期間 : お買い上げ日より1年間

店名・住所・電話番号

対 象 : ケトル本体、フタ、電源ベース

お買い上げ日 年 月 日

※お客様 お名前

ご住所

お電話番号

- -

この保証書は保証期間中にお客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、  
本書記載内容の範囲で無償修理を行うことをお約束するものです。

1) 保証期間内でも以下に該当する場合は、保証の対象外とし、当社は一切の責任を負いません。保証期間内でも有償修理になります。なお、有償修理の場合の送料はお客様のご負担になりますのでご了承ください。

- (a) 本書のご提示がない場合。
- (b) 使用上の誤り、本体内部への液体の侵入および不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (c) 取扱説明書、その他注意書きに従わない使用状態(海外における使用を含む)に起因する故障及び損傷。
- (d) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障及び損傷。
- (e) 火災・公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)・異常電圧・定格外の使用電源(電圧・周波数)および地震・落雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷。
- (f) 一般家庭用以外(例えば業務用、車輦、船舶への搭載)に使用された場合や極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障及び損傷。
- (g) 本機のご購入を証明するレシート等の証明書が無く、本書のお買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- (h) 付属品・ガラス部品・消耗品が消耗し、取り替えが必要な場合。
- (i) 表面的な損傷の場合(かすり傷、へこみなどを含みます)。
- (j) 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。
- (k) 故障原因について虚偽の申告がなされた場合。

2) 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様のご負担となります。また修理窓口へ着払ご発送された場合は着払にて商品をご返送させていただきます。

3) 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。

4) 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。

5) 本書に基づく無償修理(製品交換を含みます)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

6) 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

7) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

8) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

9) 修理受付後30日間を過ぎると受付の処理は自動的にキャンセルとなります。

この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。





brewista<sup>®</sup>

ARTISAN

Gooseneck Kettle

— BR6106GVKJPシリーズ —  
— BR6110GVKJPシリーズ —

600ml 温度調整機能付きケトル BR6106GVKJPシリーズ

1.0L 温度調整機能付きケトル BR6110GVKJPシリーズ



PSE基準適合

2504